上映作品タイムスケジュール



20:00



平野勝之

◆イベント◆

トーク 16:15~17:15

平野勝之 1985。映画のDNA。 生物としてのカメラについて。

今回の上映では、1985年~1987年に制作された8mm映画を3本集めてみました。3本に共通しているのは、映画カメラそのものが主人公である、と言う事でしょうか。通常、映画のカメラアイは、絶対的な神の視点で描かれます。劇映画はお馴染みの例で、あたかもそこにはカメラなど存在しないものとして、役者さんたちは芝居をします。ドキュメンタリーも基本的には客観的な視点のものが多く、時にはカメラマンが監督も兼ねていて、いわゆる主観の視点で語られる事もあります。

しかし、今回の3本はそういった例にはどこにも当てはめる事ができないと思います。 近いのは、日記映画と呼ばれるジャンルですが「人間らっこ対かっぱ」はそれさえも当てはめる 事はできません。

カメラそのものが意思を持って動き回り、世界を記録したらどうなるでしょう?

今回の3本はそんな事を考えながらご覧いただくと楽しめるのではないか?と思います。映画は写真とは違い、時間経過と動く事が最大の快楽のはずです。

そんな原始的な快楽を味わっていただきたい と思ってます。

「人間らっこ対かっぱ」はカメラが役者と同じ 役割を果たし映画そのものが痙攣しています。

「砂山銀座」は反対にカメラを動かさない事で逆説的に映画を成立させようとします。

「銀河自転車の夜」は、カメラが闇夜に解き放たれます。例えば、無人カメラが夜にウロウロしたら、どんな映像を撮ってくるのか?余計なものを全て削ぎおとして映画は成立するのか?そんな事を考えながら作った映画です。 (平野勝之)

入「田ハノグ・	
	12:00
	13:00
	14:00
15 00 16 00 F L HH > ML 7 18 L	15:00

	The state of
15:00~16:00「人間らっこ対かっぱ」	— 15:00 —
「砂山銀座」	
休憩	 16:00
16:15~17:15 ☆トークイベント☆	
	— — 17:00 —
休憩	
17:30~18:30 銀河自転車の夜	
	美国公司

*「大宇宙スクリーン」の最大席数 40 席程度です。 当日、各上映作品ごとに整理券を配布いたします。ご鑑賞希望の方は、 会場にてスタッフにお尋ね下さい。